



不動三尊像（向かって左より、制多迦童子<sup>せいとがどうし</sup>、身代り不動明王、矜羯羅童子<sup>こんがらどうし</sup>）

特集

## 不動明王大祭

### 大圓武志大和尚の

### 遺志を受け継いで

成寿山善光寺は開山以来、釈迦牟尼仏を本尊とし身代わり不動明王をお祀りしております。不動殿に安置されている仏さま、大日如来、阿弥陀如来、薬師如来のお前立ちとしてお祀りされている不動明王は、一見恐ろしい姿をしています。その心は衆生を救済しようとする厳しくも優しい慈悲に満ちた仏さまのお心なのです。

恒例となっており、毎月二十八日の写経会に因み、今年は五月二十八日に、不動

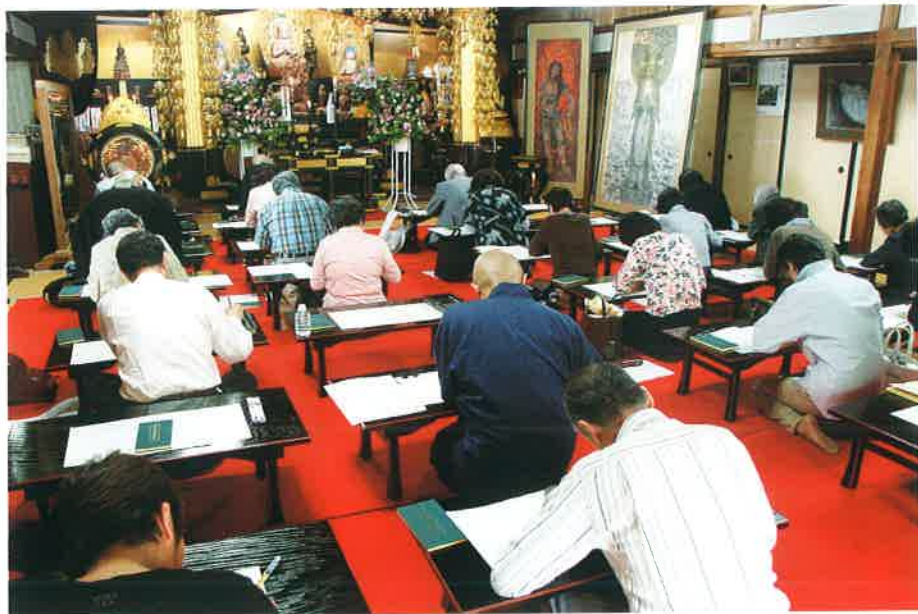


明王大祭が厳修されました。この不動明王大祭は、大圓大和尚が育英会を発足する際始められた行事です。諸般の事情により近年は内献で勤められておりましたが、今年には育英会の再開に当たり、久々に執り行いました。法要の前には檀家総代、東郷敏様「論語」についての講演をお願いしました。

東郷様の講演と法要。論語と仏法。二つの「道」の大きな流れを学び、感じながら、有意義な時間を過ごすことができました。



転読大般若法会



不動明王大祭後の写経会